

横尾棚田オーナー田通信

日本の棚田百選の一つである「岩美町横尾の棚田」で住民の方が中心となって、棚田オーナー制度が行われています。今回は初めての企画である「収穫祭」を催しました。主な内容はなめこの原木植付け作業と新米餅つき大会です。集まったオーナーさんに「いがみ田の会」会長、平井貞夫さんが今年の棚田米の作付状況について、榎本町長が岩美町の冬の味覚「松葉がに」について説明されました。

なめこの原木植付けは大人も子どもも皆さんが初心者で、慎重に原木にドリルで穴をあけ、丁寧に種の植付けを行っていました。来年の今頃にはおいしいなめこが収穫できるということです。



つづいて餅つき大会は地元のおばちゃんがりードしてペタンペタン、町長をはじめ大人から子どもまでみんなでおいしいお餅を作りました。隣ではお母さんが「きな粉餅」や「ぼた餅」で早速味見、おいしーと絶賛の声を上げておられました。最後はみなんでお昼ご飯、新米こしひかりをはじめ、今年初栽培の「マコモタケ」料理と旬のカニ汁、「どんづまりハウス」のごつつおで贅沢なひとときを過ごしました。みなさん大満足で、「また来年もよろしくお願います」とありがたいお言葉をいただきました。

今回で今年のイベントは終わりましたが、来年も皆さんが棚田で元気に再会できるといいですね。



馬場「唱歌と彫刻の郷」づくり

馬場地区では、作曲家田村虎蔵氏と彫刻家山本兼文氏の出身地として「唱歌と彫刻の郷」づくりの活動を進めています。

この一環として、11月9日（金）、とっとり童謡唱歌を推進する会（会長・鈴木恵一氏）を迎え、『唱歌の父・田村虎蔵生誕の地』で、地区住民と一緒に「はなさかじい」など田村虎蔵作曲の歌を合唱しました。今後もこういった活動を通して、地区の活性化を進めていきます。



国民文化祭・とくしま2007に出演しました

～岩井地区伝統文化子ども教室～

11月3日（土）徳島県石井町で開催された第22回国民文化祭・とくしま2007民俗芸能の祭典「獅子舞」に岩井地区伝統文化子ども教室が出演しました。小中学生を含む15名のメンバーが息を合わせ、岩井御湯神社親子二頭舞（麒麟獅子・神楽獅子）を全国に発信しました。

